

# 松本



## 新しいスポーツ観を

スケルトン「応援する会」設立総会の中山さん

本紙で「40代アスリート」の挑戦を連載(随時)しているスケルトン選手・中山英子さん(44、松本市)を応援する会の設立総会が19日、同市で開かれた。元信濃毎日新聞記者で、2度の冬季五輪に出場。18年の韓国・平昌大会を目指して挑戦を続ける中山さんを、

資金面にとどまらず広くサポートする。「中山さんの挑戦を後押しする全ての人がメンバー」としており、立ち上げメンバーは中山さんの友人ら25人ほど。

10月から始まる今季の海外遠征費用集めが大きな目的で、当面の目標額は200万円。

会報やインターネットを利用した活動報告のほか、出前健康講座なども検討しており、スポーツの魅力や健康の大切さについても広く伝えていく考えだ。

今年1月、海外でのW杯転戦から帰国した中山さんを囲んで、関係者が懇親会を持ったのがきっかけ。中山さんが打ち明けた不安や苦労話を聞く中で支援の機運が盛り上がり、準備を進めてきた。

設立総会には15人ほどが参加。代表に就任した松本大の等々力賢治教授(63、人間健康学部長)は「ジャーナリストの経験があり、

幅広くスポーツを考えることができる人。アスリートとしての成績はもちろんだが、それを生かし、新しいスポーツ観をもたらしてほしい」と期待した。

中山さんは「ただ勝つだけでは見てもらえない競技。皆さんの力を借りて、スポーツが本当の意味で、みんなのものになるようにしていきたい」と意気込みを語った。



中山英子さん  
設立総会で感謝と意気込みを語る中山さん

101  
000円  
で寄付を  
募ってい  
る。問い  
合わせは  
事務局・  
田中さん  
090  
・358  
5・66  
93



# ようこそ!松本へ

スペイン

## アルベルト・カサデサスさん(28)

スペインのカタルーニャ州出身。現在はドイツのベルリンでソフトウェア会社の技術者として働く。今月中旬、夏休みを利用して幼なじみら7人と松本を訪れた。

①なぜ松本にきたのですか?

「異文化に触れたいと考え、スペインから遠い日本への旅行を思い立った。ガイドブックに載っていた中で、松本城と北アルプスに興味を持って松本を選んだ。ほかには岐阜県中津川市の馬籠宿(旧山口村)、京都、広島、鳥取などを訪れた。この後、岐阜県高山市と東京に行く」

②きょうの予定は?

「レンタカーで上高地に行く予定だったが、朝から雨だったので、代わりに浅間温泉に行った。スペインにも温泉やスパ施設があるが、浴槽が大きく、水着を着て入るためプールに近い。日本の温泉は初めてで、お湯が熱かったが、露天風呂やサウナにも入ってリラックスできた」

# 日本式温泉でリラックス



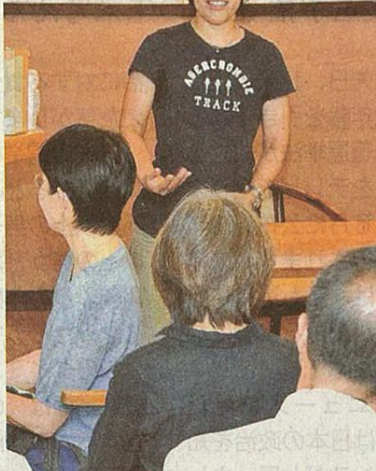
初めての日本の温泉でリラックスしたというカサデサスさん。タオルを首に掛けて笑顔を見せた

③どんなことを感じましたか?

「松本城やその周辺の街を歩き、歴史的な建物や伝統的な食べ物に触れることができた。ただ、英語表記の案内や英語が通じる店が少なかった。異文化を楽しむために来ているので問題はないが、もう少し英語が通じれば、もっと多くのことを知ることができたかもしれない」

(次回は9月4日に掲載します)

## 中山英子さん 援する会 設立



援する会の設立総会で思いを話す中山さん

中山さんは元信濃毎日新聞記者。1998年の長野冬季五輪を取材したのをきっかけに競技を始め、02年ソルトトレックシテ

スケルトン女子の日本代表として冬季五輪に2度出場し、2018年の韓国・平昌冬季五輪への出場を目指す中山英子さん(44)は松本市中央2-1を応援する会が19日夜、発足した。友人ら15人が松本市内で設立総会を開き、海外遠征費などに充てる活動資金の寄付を募ることを決めた。

## スケルトン女子 平昌五輪目指す 中山さんを応援 松本で会が発足

中山さんは「応援していただけることに感謝します」。

イと06年トリノの冬季五輪に出た。11年に退社して競技に専念。14年ソチ冬季五輪の出場は逃したが、松本市を拠点に練習を続けている。

KCTチャンネルきそ

6.00	3町お知らせ文字放送 再2.00、10.00
7.00	ウィークリーきそ ▽御嶽山親睦剣道大会 大桑あひの頃の記憶展 再11.00、3.00、7.00
8.00	先週のウィークリー
10.00	3町お知らせ文字放送 再6.00、1.00

## 年記念の夏フェス

大町市の大町温泉郷の旅館やホテルでつくる実行委員会は22日、温泉郷50周年を記念したサマーフェスティバルを現地で開催。打ち上げ花火大会やフリースタイル、ビアガーデン、みこしと担ぎ手に水を浴びせる「水かけ祭り」などが楽しめる。

寄付の年内目標額は200万円。振込口座は「ゆうちょ銀行 00510-7-51455」。1口千円で、現金でも受け付ける。問い合わせは中山さん(☎090・3585・6693)へ。

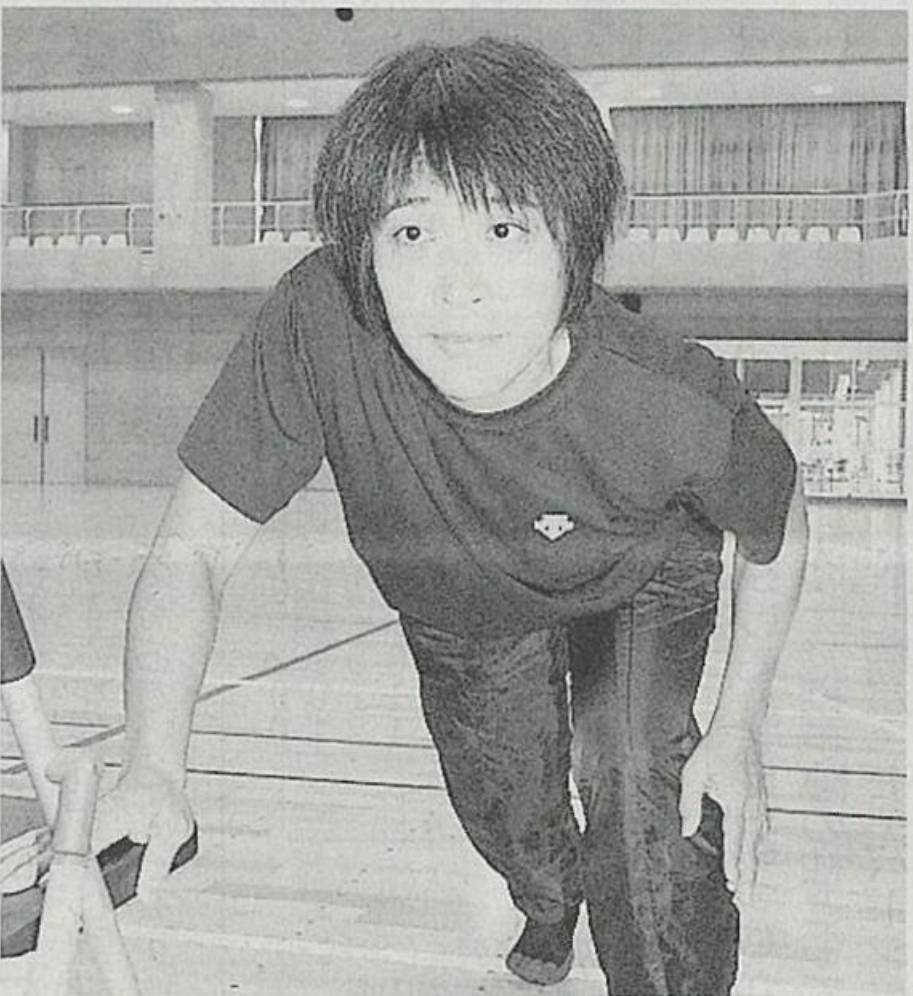
## あづみ野エフエム76.1

7.30	☎おはよう!あづみ野 ▽小出マサト◇金妻
10.15	野村法律よもやま話
10.30	くにとあき万華鏡
11.00	中柴香苗 水色の時間
0.00	シネマ▽丸山結加
1.00	☎おひさまサークル ▽山田祐子
5.00	☎大岩堅一の金曜プライムスタジオ 信毎
8.00	望月貴徳のGTM



# 目標は平昌 応援する会も

元信濃毎日新聞記者  
スケルトン選手・中山英子さん



トレーニングに励む中山英子選手

## ぴーぷる

そり競技のスケルトンで2002年と06年の冬季五輪に出場した中山英子さん(44)＝松本市＝が、18年の平昌五輪(韓国)を目指すことを決意し、トレーニングに励んでいる。「自分の中から出てくるエネルギーを信じて、前に進んでいきたい」。松本市内で8月19日夜に開かれた「応援する

会」の設立総会で、3年後の大舞台を目指す意気込みを力強く表明した。

元信濃毎日新聞記者。1998年長野五輪の取材をきっかけにスケルトンと出会い、02年ソルトレーク五輪で12位、06年トリノ五輪で14位になった。出場を逃した10年バンクーバー五輪の翌年退社し、競技に専念したが、昨年2月のソチ五輪も代表になれなかった。

しかし「まだやりきっていない」と引退する気にはならなかったという。その後、昨年11月～今年1月の海外遠征で「これまで見えなかったものが見えてきた。記録ももっと伸びそう」と手応えを感じ、平昌を目指す気持ちが固まった。春から秋は主にスタートダッシュの練習やウェイトトレーニングなどを重ね、冬は欧米を転戦する。ただ現在にはほぼ無収入だ。

40代の果敢な挑戦を物心両面で支えようと、知人らが応援する会を設立した。活動資金の寄付を募るなど広く協力を呼びかけていくという。中山さんの活動資金として当面200万円を目標に寄付を募る。スポーツの魅力を伝える中山さんの講演なども開く予定だ。問い合わせは田中健太郎事務局長(電話090・3585・6693)へ。

(佐藤孝之)



# 平昌五輪出場 市民で応援

## スケルトンの中山英子さんの有志の会が発足

過去に2度の五輪出場経験を持つ、松本市中央2のスケルトン選手・中山英子さん(44)を3年後の韓国・平昌冬季五輪に向けて支援する市民の会「中山英子さんを応援する会」が19日夜、市内で発足

過去に2度の五輪出場経験を持つ、松本市中央2のスケルトン選手・中山英子さん(44)を3年後の韓国・平昌冬季五輪に向けて支援する市民の会「中山英子さんを応援する会」が19日夜、市内で発足

40代アスリートとしての挑戦を精神面と資金面から支えつつ、地域や五輪講座の開催など普及させる目的で、中山さんの友人知人ら20人余が立ちあがった。「緩やかな連帯の輪を広げていくこと」も確

認した。

中山さんは松本県ヶ

丘高校、早稲田大学を経て新聞記者として働



設立総会に集まった支援者を前にあいさつする中山さん(右)

野五輪の取材でそり競技に出会い、選手に転向した。ソルトレーク、トリノ西五輪に出場し、その後の2大会は代表を逃している。現在はフリーの競技者としてW杯などに出ているが、活動資金の捻出や年齢による体力の低下など課題もあるといい「いろいろな意味での挑戦になる。皆さんの力をお借りして、自分の思いに正直に進んでいきたい」と話している。

会は今シーズン200万円の援助を当面の目標にカンパを募る。代表に就いた松本大学の等々力賢治副学長は「可能な限り支え、日本のスポーツ界に一石を投じてもらいたい」と期待している。会の問い合わせは田中健太郎事務局長(☎090・3585・6693)へ。

(有賀文香)